

「こころの体温計」？・・・携帯電話やパソコンを利用して、こころの健康状態やストレスの状態を調べることができるメンタルセルフチェックシステム。



山本信子

学校にエアコンやミストシャワーの設置を
設置を検討していく

Q 今年の夏は連日猛暑だったが、市内の幼稚園や小・中学校の熱中症患者数とその症状は。

今後の予防対策として、教室への扇風機やエアコン等の設置や、屋外にミストシャワーを設置する計画はあるか伺う。

A 教育次長 小学生で2人、中学生で1人、いずれも体育の授業や運動会の練習時に「めまい」や「発熱」等の症状があり、医療機関で点滴等の処置を受けた。他にも熱中症とみられる症状があったが、軽症だった。各学校では、炎天下での長時間の運動等 avoidance、こまめに水分を補給し、適宜に休憩をとるなどの対策をとった。また、運動会の実施時期を春に変更したり、時期を遅らせたりする工夫をしている。

市としては、早期耐震化を最優先に取り組んでいるが、校舎の新築、改築時にエアコンの設置を予定し、各学校の格差解消と公平な教育環境を図っていく。

また、議員から提案のあったミストシャワーは、本年、試験的に市内小学校5校で簡易なものを設置し、使用した。今後も熱中症防止対策と

して設置を検討していきたいと考えている。

Q うつ病防止対策「こころの体温計」の導入を

A 保健福祉部長 本市では、23年度中、心の病気で通院された方が5000人弱、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方が181人、自殺者が17人あった。

このようなことから、講演会を始め、相談事業として、「こころの健康相談」、「こころのデイケア」を実施し、心の病気に対応する相談、予防事業の充実に努めている。議員から提案のあった「こころの体温計」は、ストレス度や落ち込み度をチェックでき、悩んでいる方々への初期対応のサポートにつながるものと期待しており、導入に向け検討したい。

Q 市民体育祭の改善計画は

A 教育次長 参加行政区は横ばい状況にある。スポーツの振興によるまちづくりを目的に、今後も多くの市民が楽しく、参加しやすいものに

なるよう、市民や関係者の意見を聴きながら改善策を検討していく。



各行政区、各団体による入場行進（市民体育祭）

Q 市民文化祭の改善は

A 市民生活部長 小美玉市民文化祭実行委員会を設置し、事業内容に関するすべての事項を審査、推進している。今後も市民の皆様のご意見を踏まえ、より充実した賑わいのある市民文化祭になるよう努めていく。



藤井 敏生

平成 25 年度の予算編成の重点施策は
まず災害に強いまちづくりに取り組む

Q 平成25年度の予算編成について伺う。①予算編成に対する基本的な考え方は。②予算の取り組みと重点施策は。

A 市長 ①国・県の動向を見極めながら、健全財政と安全安心のまちづくりを基本的な考え方として、メリハリのある予算編成を行い、市債残高の抑制と行財政全般にわたる改革を進め、財政の健全化に取り組んでいく。

②原則として、すべての経費を盛り込んだ通年予算とし、総合計画基本計画や3か年事業実施計画に基づき予算根拠の明確化と実績をもとにすべての事務事業の見直しを行っていく。予算編成のもう一つの軸である安全安心のまちづくりについては、市民の定住と交流基盤の強化につなげて、市の一体化や都市としての潜在能力を高めていく施策を展開していく。

そのため重点施策は、23年に発生した東日本大震災の経験を踏まえ、災害に強いまちづくりに向けた施策に取り組んでいく。小・中学校の耐震化、公共施設の耐震診断調査と耐震化事業、さらには避難所や災害対

策の拠点施設の整備や避難場所と防災公園の整備、併せて災害対策用資材や防災備蓄品の充実を図っていく。

また、(仮称)空の駅、羽鳥駅の橋上化を含めた駅周辺の整備、霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備計画の大井戸地区公園の整備のほか、福祉事業の充実や教育現場の事務軽減を図るための校務支援システム導入を図っていく。25年度から、総合計画後期基本計画がスタートするので、計画に掲げた各種施策を確実に実施していく。

Q 今年度の防災訓練が無事終了したが、初期の目的は達成されたか。また、今回の防災訓練を振り返り、「防災に強いまちづくり」に欠かせない課題について伺う。

A 市民生活部長 防災関係機関及び地域住民の相互協力体制の緊密化と市民の防災意識の高揚を目的に、11月25日、甚大な被害が予想されている南関東直下型地震を想定した防災訓練を行った。今回の訓練には、約1,000名が参加し、関係機関及び地域住民との相互協力体制の強

化と市民の防災意識を高めることができ、初期の目的を達成することができたと考えている。また、今回の訓練によりこれらの取り組みについての検証や評価を行うことができた。

今後の市民の安心、安全を確保するための体制づくり、危機管理体制を今以上に充実させ、強化することが今後の課題であると考えている。

○ 昨年の東日本大震災の初動体制は十分とはいえなかった。大規模訓練のほかに、地域ごとの防災訓練が大事と考えるので共に実施していただきたい。



多くの市民が参加して防災訓練 (玉里運動公園)

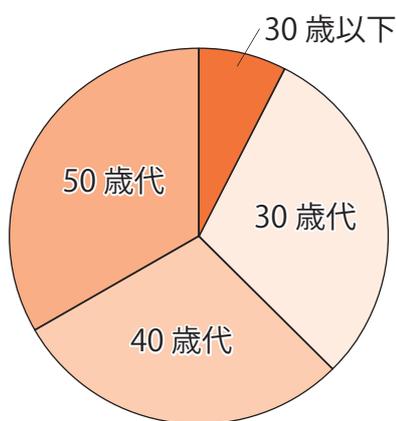


長島 幸男

市職員の定員適正化は図られているか

第2次定員適正化計画の見直し検討

【小美玉市職員の年齢構成】



A 総務部長 ①市の第2次定員適正化計画に基づき、26年4月1日までに5・63%にあたる30名の減員を目標としているが、複雑多様化している行政需要や、国県からの権限委譲などが想定され、現在の定員管理と新規採用について見直しをする方針である。

Q 職員の人事・労務管理について伺う。 ①合併後、定員の適正化、年齢構成の是正に取り組んでいるが、現在の状況は。市民サービスの向上を目指すのであれば、正規職員を採用すべきと考えるが、非正規職員を正規職員として雇用する考えは。②人事異動、適材適所、若い職員はさまざまな職種を経験させ、その後は本人の適正にあった職種を、自信を持って意欲的に業務に取り組むことができるかと考えるが。

現在（24年4月1日）の正規職員数は、一般行政部門257名、教育部門92名、公営企業部門52名、消防部門105名の計506名。臨時職員は190名が在籍している。その臨時職員のうち、148名（78%）は教育委員会に所属し、放課後子どもプランと給食調理員関係となっている。

○非正規職員の人数が多い。市民サービスの向上を目指すのであれば、しっかりとした正規職員を採用すべき。年齢構成是正のため、20歳代の職員の採用を考えていただきたい。

②人事異動には、各職員の業務適正と労働意欲を考慮し、それに合わせた部署に配置する「適材適所」の考え方と、職員の勤務状況などを評価し、より適している部門で積極的に活用する「能力活用」の2つを基本に実施している。また、本市では一定の条件のもと「異動希望調査」を例年実施し、各職員の考えや希望を聴取して異動資料としている。

人事異動については、今後も公平公正を考慮し、各職員の労働意欲を重視しながら、適正配置に努める。

Q 市所有の美術品の管理について

A 総務部長 市の美術品を管理している施設は27施設で、内訳は、絵画が99点、書が21点、彫刻などが16点、その他74点、計210点となっている。そのうち展示中は183点、保管中が27点ある。取得した経緯は寄附や寄贈であり、美術品としての価値や芸術性は判断していない。

○価値の評価をして、保管品も含め展示コーナーを設け、どの作品がどこに飾られているかお知らせしてみてもどうか。



▲全国的にも有名な切り絵作家 滝平二郎の作品（議長室に展示）



谷 仲 和 雄

年々厳しさを増す財政状況を踏まえて、今年度末は28億6,071万円を見込んでいます。「財政調整基金」は標準財政規模の1割

の積立金の確保が重要であると考えています。

A 市長公室長 普通交付税は、基準財政需要額と基準財政収入額を計算して、需要額から収入額を差し引いた額を交付基準額として配分される。参考までに、本市の24年度の交付税算定の交付基準額は、合併算定替では約45億9,500万円、一本算定では32億8,800万円となる。仮に、今年度一本算定された場合には13億700万円が減少となる。

Q 普通交付税が平成28年度から段階的に減額される激変緩和期間を経て、平成33年度から一本算定となる。

普通交付税の一本算定に備え「財政調整基金」「減債基金」の積み増しに努めるべきと考えるが、執行部の見解を伺う。

程度が望ましいと考え、健全な財政運営を推進するため、将来にわたり基金確保に努めたい。

また、「減債基金」については、平成24年度末9億6,220万円を見込んでおり、今後も引き続き積立金の確保に努め、なお一層の財政基盤の強化を図っていく。

Q 「通学路の安全対策」小川小学校周辺の交通安全対策は。

A 教育次長 24年4月に京都府や千葉県で登校中の児童の列に車が突っ込む痛ましい事故が発生した。これを受け、国から学校における通学路の安全点検及び安全確保の調査依頼があり、5月に教育委員会単独で、さらに8月には道路管理担当部署、石岡警察署、教育委員会による「通学路の緊急合同点検並びに安全確認の調査」を実施した。

結果、小川小学校周辺では、5カ所が危険・要注意箇所として選定され、対策を検討している。しかし、その対策となる道路の拡幅や信号機の設置には相当の期間を要するため、教育委

員会では、石岡警察署や県道及び市道の管理担当部署と連携し、まず、注意喚起を促すスクールゾーンの道路標示や看板設置等ができることから検討し、取り組んでいく。

また、ドライバーの交通ルールの徹底やマナー向上に向けた活動に取り組みとともに、各学校でも自転車の乗り方や横断歩道の渡り方などの安全教育の充実を図っていく。



小川小学校正門付近



福島 ヤヨヒ

フラット型歩道?・・・交差点部や車乗入れ部での歩道切り下げによる波打ちがなく、高齢者や障がいのある人、自転車やベビーカーを利用している人にとっても障壁がなく快適に通行できる歩道。

Q 幅員4mに満たない生活道路や、地域で整備の請願が提出された道路整備はどのようになっていくのか。また通学路としての歩道や、通学を妨げている生垣に対してどのような対応がなされているのか伺う。

A 都市建設部長 「小美玉市生活道路の臨時的整備に関する指針」により要望に応じ、現状に合わせて実施していく。請願されたものうち平成23年度末で108路線が未整備だが、計画を立て区長さんと協議しながら進めていきたい。



マウントアップ型歩道（脇山地区 イチョウ通り）

歩道については、5年間に10kmを目標にフラット型で事業を実施している。新たな歩道の整備が優先されるのでマウントアップ型歩道の改修は直ちに取組めない状況。今後、改修計画を考えたい。

また、通学を妨げる生垣対策は所有者に改善要請をお願いしながら、地域の各区長、子ども会育成会、保護者の方々と協力・連携をし、粘り強く改善に取り組んでいきたいのでご協力をお願いしたい。

Q 子どもや妊婦の放射性物質による健康影響調査費用の助成を

A 保健福祉部長 本来、原子力事業の責任は国にあり国が責任を持つて対応すべきものと考えているが、現時点で健康影響被害に対する具体的な基準等が国から示されていない。このようなことから県も健康調査を含め具体的対策を講ずるよう国に要請している。本市でも昨年議会に提出され採択された放射線対策に関する請願陳情を重く受け止め、国や県などとも連携を深めながら冷静に対応したい。

Q 公共下水道の普及拡大と補助制度の拡充を

A 都市建設部長 計画に基づき整備を進めているが、現在の接続率は約75・6%となっている。啓発活動や戸別訪問等で接続向上に努めたい。補助制度も現在の1年以内4万円、3年以内2万円等があるが、未接続世帯への補助については、補助期間内に接続した方との公平性を考慮し、今後検討していきたい。

Q 公共交通機関の在り方と実施に向けて

A 市長公室長 在り方として、広域幹線ネットワーク化、市内巡回型、タクシーチケットの充実、交通拠点整備を4本柱に実証運行に向け、関係機関と25年度中を目標にルート設定や運行時間帯、運行体制を検討している。すでに県内では82%の市町村で実施されており、本市においても施設巡回バスやイベント等の巡回バスも含め交通マップを作成し、普及に努めたい。

生活道路・通学路の整備を

歩道は5年間で10kmを整備

霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備計画について

計画に沿って工事を進めていく



木名瀬 幸吉

Q 霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備計画について伺う。①大井戸湖岸地区整備の進捗状況並びに完成時期は。②「権現山地区整備計画」施設と自然環境に恵まれた地区だが、具体的な内容は。③権現山と霞ヶ浦の景勝は素晴らしい。南側の斜面に芝桜でも植えて、ここに若い人たちが集まるような施設整備をしてみてもどうだろうか。



(仮称) 大井戸湖岸公園整備工事に着手

A 都市建設部長 ①(仮称)大井戸湖岸公園整備は、平成22年度に用地測量、基本設計を終え、23年度には地元説明会を実施した。本年度は、市有地約2haの周辺排水路整備と一部造成工事に着手し、25年度に公園本体とトイレ棟、駐輪場の建築工事を進め、26年3月の完成を予定している。また、進入路の整備は、既存の市道を舗装化するため、現在、測量設計を進めており、公園整備の完成に併せて工事を進める。

さらに、その後には、隣接した市有地約0.3haに(仮)第二公園を整備する予定であり、市民要望をとり入れた遊具等を設置する等して、公園設備の更なる充実を図っていく。

②権現山地区整備の当初の構想では、市有地約2.6haに広場やトイレ、バーベキュー場、直売所などの建設を予定している。その他にも温泉施設用地の確保、宿泊施設等の計画を盛り込んでいるが、整備にあたっては市民の意見等も伺いながら、計画を進めていきたいと考えている。

○広い場所なので、トイレの設置も含め、家族連れや高齢者等が楽に使えるようなバリアフリーに整備していただきたい。

③権現山から霞ヶ浦を眺める景色は素晴らしい景観であり、特に、夕日を望む景色は心が和み安らぎを持てる風景といえる。若いカップルや家族づれ、また、老若男女を問わず、多くの方に訪れていただきたい場所でもあるので、議員から提案のあった芝桜の植栽など多くの市民の意見を伺いながら整備していきたい。



権現山から霞ヶ浦を望む

宮田地区の防災公園計画の概要は

災害時は指定避難場所、平常時は芝生広場



萩原 茂

Q 宮田地区の防災公園整備計画について伺う。①寄付者の目的とこれまでの経緯、②法律上（都市計画法など）の制約はないのかどうか。③防災公園の機能の概要と進入路の計画概要、④防災計画への位置付けと平常時の利用形態は。

A 都市建設部長 ①本事業の計画地は、本田昌也氏から、平成19年11月1日、スポーツ・レクリエーション施設の整備用地として寄付



防災公園整備計画が予定される市有地（写真左側） 宮田地内

の申し入れがあり、市が茨城空港の利用促進と合併間もない新市のまちづくりの起爆剤になるとして、同月9日に寄付を受入れたもの。その後20年3月に策定した市総合計画の土地利用構想の中で、スポーツ・レクリエーションゾーンとして位置付けたが、23年3月の東日本大震災による教訓を踏まえ、寄付を受けた土地の有効活用として地域防災に役立てるため、地域住民の一時避難及び広域防災活動拠点としての防災機能を備えた公園の施設整備を図ることになった。

②計画地及び周辺はゴルフ場としての都市計画法の許可（開発許可）と農地法や林地開発等の許可を受けているため法律上の制限があるが、現在はゴルフ場計画廃止が明確となり、防災公園整備計画を進めている。

③防災公園の概要（機能）は、大災害が発生した場合に地域住民が避難できる場所並びに広域災害活動の拠点として活用できるように、臨時ヘリポートの設置、応急仮設住宅建設用地の確保、多目的トイレ、防災倉庫、耐震性貯水槽、自然光発電の照明設備施設等の整備を予定している。また、公園への

進入路は平成27年度の供用開始を目標に公園整備と平行して進めていく。

④公園施設の完成後は指定避難場所として防災計画の見直しを図るなど協議をしながら進めていく。また、平常時の利用は、芝生広場などを住民が活用できる公園施設としていきたい。

Q 入札制度の現状と課題、今後の考え方と方向性は

A 総務部長 入札制度には、一般競争入札と指名競争入札の2方式があり、現在の建設工事の指名競争入札には、Cランクの業者が経営規模評価の総合点数の関係上、入札に参加できないこともある。これについては、選考基準に沿った指名を行うことにより、公平な入札制度の確立を図っていきたい。現在の入札制度の見直しについては、指名名簿が切りかわる平成25年6月頃実施できるような、市入札契約制度検討委員会で協議していきたい。

○小規模事業所も参入できるように公正な入札制度を取り入れるよう要望する。



中根要樹

A 市長公室長 具体的な内容・運行方法は、地域公共交通会議を

Q 公共交通循環バスの運行には道路幅員の制約、停留所の整備、運行ルートや運行曜日と時間、利用料金等多くの課題があるが、市は計画をどのようにたてているのか。また、運行開始時期、運行形態（委託か直営か）、運行経費はどのくらいか。

公共交通循環バスの運行計画は

これから地域公共交通会議で決めていく



市民の足、公共交通循環バス（イメージ）

設置して決定していく。現状の課題は、運行ルート、バス停留所の位置、運行曜日と時間、運行料金等があるが、同会議での決定を受け、平成25年度中には実証運行を実施する予定。

また、運行形態は委託を予定しており、概算事業費は、バス停の設置など初期投資を含め、初年度の年間運行経費を約3,800万円と見込んでいる。

○交通弱者がどうやってバス停までいくかなど、非常に難しい問題が多いので、よく検討して、利用者が増えるような方策をお願いしたい。

Qタクシーの助成について利用者、利用目的の条件緩和は

A 市長公室長 助成内容は、1回710円の初乗り運賃を助成するもので、一人年間24枚のタクシータケットを申請に基づき発行している。現在、年間の利用者は約300名で、約250万円の経費を要している。

また、この制度をより利用しや

すくするため、今までは70歳以上の一人世帯または高齢者のみの世帯という条件を、70歳以上の高齢者で自動車運転免許を所持していない方とし、利用範囲も今までの指定した3コースの往復のみではなく、移動目的に制限を設けないこととする条件緩和を考えている。

Q「空の駅」に地元生産者や事業者が出店する場合の手続きは

A 産業経済部長 出店者の手続方法及び必要経費は、運営者が決めるものなので、現時点では決まっていない。現在、駅長候補者と農家や商店を1件ずつまわり、情報を収集しているところ。農家や商店主を対象とした概要説明会は、来年度早々に市主催で行うことを考えている。その後、運営者が正式に決まったら、速やかに運営者主催の具体的な説明会を開催したいと考えている。

市単独でシルバー人材センターの運営を

財政負担増加が見込まれるので、様子を見る



小川 賢治

Q 公益社団法人石岡シルバー人材センターは、石岡市と小美玉市の広域会員で構成されているが、本市の会員数等と運営状況はどうか。

また、広域での運営は県内2カ所のみで、ほとんどが単独で運営している。今後、60歳以上の方が増えることが予想されるが、シルバー人材センターを小美玉市単独で運営する考えはあるか伺う。

A **保健福祉部長** 全体で1,150人の登録会員数のうち本市



清掃作業に従事するシルバー人材センター登録会員

の会員数は445名となっている。本センターは県内42あるセンターのうち会員数が3位で、事業収益は4位、公共団体や民間企業、一般家庭からの受注と自主事業などで、約4億473万円の実績を上げ、4位となっている。また、就業実人員は886人で、就業率は75・3%という状況である。

A **市長** シルバー人材センターを単独で運営するには、現在と同程度の就労機会の確保、会員への配分金の確保、事務局職員の人件費等、市の財政負担も増えると考えられる。また、長引く景気の低迷により、民間からの仕事の受注件数が減少傾向にあるので、様子を見ていきたい。

Q 「小中学校規模配置適正化基本方針」の策定に係る住民説明会の状況は

A **教育次長** 全小学校区を対象に、11月17日から12月9日まで説明会を実施し、趣旨・検討の経緯、小・中学校の現状、本市の学校教育が目指すべき方向性、学校規模の適正化の基本的な考え方、新し

い学校づくりなどの説明を行った。全体で220名（小川87名、美野里36名、玉里97名）の参加者があり、小規模の小中学校区では再編による不安を抱え、参加者が多かった。説明会では、「再編は賛成だが、地域の活性化が心配」、「学区の見直しや再編などに伴う交通手段はどうするか」、「意見を求めるには、具体的な情報が不足」、「経費削減のための適正化なのか」、「再編は望まない。断固反対」、「小規模校の何がいけないのか」、「地域に学校は残してほしい」などの意見をいただいた。

Q 平成23年度行財政改革の取り組み結果は

A **市長公室長** 第2次行財政改革大綱に基づき、全庁で取り組んだ結果、計画初年度となる平成23年度は、基準年度（22年度）と比較して、財政効果が約2億3,500万円あった。67の実施項目のうち、3項目を達成し、未達成が34項目で、残り30項目は取り組み中で、進展率は49・2%となった。



戸田 見成

Q 学校適正化検討委員会の住民説明会が開催されたが、その結果について伺う。学校適正化は大変大きな課題ではないかと考えているが、基本的な考え方が検討委員会でまとめられ、これからは住民の意見を十分に聞き、総合的に判断して次の具体策を示されるかと思うが。

学校適正化は住民の意見をよく聞き、具体策を

よりよい学習環境づくりのため、実施計画を策定



学校適正化の住民説明会（玉里東小学校区会場）

A 教育長 今回の学校適正化基本方針の説明会でいただいた参加者からのご意見を十分に吸い上げ、検討委員会にお諮りし、適正化実施計画の策定を進めていく。

各学校は地域にとって非常に大切な場所と認識しており、だからこそ、皆様のご意見を十分に聞き、子どもにとってよい学習環境をつくるため、地域の方々の理解とご協力を得ながら進めていきたいと考えている。

Q 再編交付金について伺う。交付されて7年目になるが、延長はあるのか。また、交付金事業を企画調整課で扱い、重点的、長期的、広域的に計画したほうが、公平になるのではないか。

A 副市長 同交付金は、平成28年度までの10年間の時限立法で、総額約23億3,000万円の交付が予定されている。延長については、7月30日に国に対し、本法律の執行後も継続して交付金が交付されるよう、新たな法制の整備を強く要望している。

また、再編交付金事業の調整を

企画調整課でというご質問ですが、再編交付金は、防衛省が定める制度であるため、米軍再編により影響を受ける住民の生活の安定を図ることを目的に基地対策課が主体となって進めている。

企画調整課が進行管理をしている総合計画の中でも、再編計画の防犯や防災など市全体の対応が必要な事業については、情報を共有し、全庁体制の中で取り組んでいく。

Q下水道事業の進捗状況は

A 都市建設部長 平成37年度を目標年次とする市公共下水道基本計画に基づき、整備は順調に進んでいるが、平成23年度末の普及率は37・2%で、今後も普及率の向上を図る必要がある。また、国庫補助を受けて実施しているので、事業内容や事業費等について、県等の関係機関と調整をしながら進めていきたい。

*そのほか、「組織検討委員会について」、「空の駅について」の質問がありました。